

2014年10月～12月の天文ショー案内

スーパームーンを見た人も見逃した人も、まだまだいろいろありますよ！

国立天文台ホームページ (<http://www.nao.ac.jp/>) ほしぞら情報より抜粋。

- ※ 出現期間はおおよそです。この期間なら必ず流星が見られるということではなく、非常に数が少ない時期も含まれます。
- ※ 1時間当たりの流星数は、極大期において、熟練者が、夜空の暗い場所で観測したときに、1時間あたりに見られるおおよその予想流星数です。

10月8日

皆既月食

2014年一番注目されている天体現象。

日本全国で赤銅色の月が見られます。

ちょうど10月りゅう座流星群（ジャコビニ流星群）の最中でもあり、月食中に流星が見られることもあるかも。

10月21日

オリオン座流星群極大日

月明かりが少ないので好条件。

一般的な出現期間 10/2～30。

1時間あたりの流星数 40個程度。

11月18日

しし座流星群極大日

月明かりが少ないので好条件。

一般的な出現期間 11/10～25。

1時間あたりの流星数 10個程度。

12月14日

ふたご座流星群極大日

夜半頃月が昇ってくるためあまり条件は良くない。

一般的な出現期間 12/2～20。三大流星群のひとつ。

1時間あたりの流星数 80個程度。

12月23日

こぐま座流星群極大日

月明かりがないので好条件。

一般的な出現期間 12/17～25。

1時間あたりの流星数 数個程度。